

## 平成30年度指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1 施設名 (所管課)  
 富山県新川文化ホール 文化振興課

2 施設所在地  
 魚津市宮津110

3 施設設置年度  
 平成6 年度

4 設置目的  
 県民の文化の向上と芸術の振興を図ることを目的とする。

5 施設概要

①建物の構造 鉄筋コンクリート造(地下2階地上4階)  
 ②敷地面積 73,024㎡(富山県部分18,860.03㎡、魚津市部分54,163.97㎡)  
 ③建物面積 12,797㎡(富山県専用部分8,195㎡、魚津市専用部分3,590㎡、  
 共有部分1,012㎡県、市1/2)  
 (地下2階675㎡、地下1階379㎡、1階7,117㎡、2階3,636㎡、3階920㎡、  
 4階47㎡、R階23㎡)  
 ④施設内容 県所有 大ホール(1,186席)、小ホール(297席)、リハーサル室(249㎡)、  
 練習室(5室)、駐車場の一部  
 市所有 展示ホール(842㎡)会議室(7室)、和室(3室)、常設展示室、  
 イベント広場、駐車場の一部  
 ⑤開設 平成6年11月

(当該施設は魚津市との共同設置施設であり、施設は富山県所有分、  
 魚津市所有分、共有分で構成されています。)

6 指定管理者  
 公益財団法人富山県文化振興財団

7 指定期間  
 5 年  
 平成26年4月1日 ~ 平成31年3月31日

## 8 利用者数及び利用(使用)料金収入の状況

(1)利用者数(人) ※この他、参考となる指標があれば追加

H26	H27	H28	H29	H30
194,744	189,108	167,319	160,908	176,982

(2)利用(使用)料金収入(千円)

H26	H27	H28	H29	H30
29,987	27,545	28,240	25,931	28,389

(3)利用料金収入見込み額(利用料金制導入施設の場合)

H26	H27	H28	H29	H30
29,777	29,777	29,777	29,777	29,777

## 9 評価項目

### (1) 利用者数・収入の増減に対する評価

・吹奏楽の中核施設になることを目標に平成26年度から全国高等学校吹奏楽部公演シリーズを実施しており、平成30年度は、大阪府立淀川工科高等学校吹奏楽部公演を開催した。オーケストラ公演として「ザルツブルグ・モーツァルテウム管弦楽団」、実力人気シンガー公演や夏休み親子で楽しむ企画展など、魅力的な公演を実施することで、県内外から来場者を増やす取り組みを行ってきた。また、平成30年度は、ねんりんピック富山(全国健康福祉祭)の開催、県民芸術文化祭の魚津開催(4年毎)や各種団体の周期的な開催行事が集中し、大小ホール共に催事件数が増加した。文化ホール全体の利用者数は176,982人であり、平成29年度より16,074人増加した。

・利用料金収入については、利用者数に比例して2,457千円の増収と堅調であった。

### (2) サービス向上に向けた取組み

・平成30年度から施設の雰囲気づくりとしてエントランスロビー及びクリスタガーデン内にクラシック等のBGMを流している。(来場者に潤いと安らぎのある温かい空間づくりに努めた。)

・平成30年度に201号会議室のスクリーン(天井収納)を更新した。

・引き続き障害者や高齢者に対してユニバーサルサービスの提供を推進する資格者を配置した。

・平成30年度にチケット販売システムを更新し、インターネットクレジット決済及びコンビニ支払・発券に対応した。

### (3) 利用促進(収入増)に向けた取組み

・平成26年度からホームページにリアルタイムな施設予約状況を掲載している。

・展示室及び和室の利用向上のため、PRに努めた。(会議利用の促進)

### (4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

#### ① アンケート結果

実施方法	施設利用者/通年(アンケートBOX設置)、事業観覧者/入場時にアンケート用紙を配布
回答者数	施設利用者:77件、事業観覧者:2,447人
結果	施設利用者:満足87%、事業観覧者:満足90%
結果を踏まえた改善事項	アンケート結果から概ね満足されており、接遇など来場者サービスを更に向上させる。

#### ② その他利用者の声を反映させる取組み

支援団体(新川文化ホール振興協議会、新川ミュージック・フラウエン、ミラージュホール・クルー)と会議を設け、要望や意見を集めている。ホームページに「ご意見箱」を設け、意見や評価の収集に努めている。

#### ③ 主な苦情と対応

・1階と2階を結ぶ階段及び2階ブリッジ通路の両サイドが透明ガラスであることから、1階からの視線が気になると指摘があり、目隠しシール(半透明シート)を張ることで女性が安心して歩けるように改善した。

### (5) 個人情報保護の取組み

個人情報保護規程を定め、職員に周知を図り、適正に個人情報を取り扱っている。

### (6) 関係団体との連携

新川地区の文化施設及び関係行政と連携を図り地域文化の向上に努めた。

(7) 施設・設備の維持管理

専門保守業者による保守点検とは別に、職員による自主点検を行うなど適正に管理されている。

(8) 危機管理・安全管理などの取組み

・舞台機構の点検チェックリスト等を作成し日常から安全点検を徹底した。  
・非常時のマニュアルや連絡表を作成するとともに、防災訓練の実施や各種機器の点検なども着実に実施した。

10 所管課の管理運営確認状況

- ①定期報告の受理
- ②維持管理・運営状況等の担当職員現地確認
- ③個人情報に関するトラブルの有無
- ④危機管理・安全管理上のトラブルの有無

有/無	回数(有の場合)
有	12
有	3
無	—
無	—

【トラブルの具体的内容と対応】

無

11 今後の課題等 (収入確保、経費削減、サービス維持向上等の観点から今後の課題を記載)

・開館して24年経過し、老朽化した施設設備の更新が大きな課題である。施設利用に支障が生じないように改修計画を随時見直しながら、メンテナンスを講じていく必要がある。  
・利用料金の割引制度のPRや利用者目線のきめ細かいサービスを提供することにより、既存利用者の継続利用はもちろん、新規利用者を開拓して利用促進に努めることが必要である。  
・引き続き協力団体と連携を図り、県民のニーズを反映した魅力ある企画事業を展開し、県民に愛され親しまれる施設運営に取り組む必要がある。

別表 富山県新川文化ホール

	大ホール	小ホール	リハーサル室	練習室
26年度	70%	52%	47%	71%
27年度	61%	54%	43%	62%
28年度	58%	57%	46%	72%
29年度	56%	53%	48%	62%
30年度	61%	54%	50%	64%